

●昭和53年 6月20日印刷
●昭和53年 8月 1日発行
●編集・発行者 竹島紀元
●編集スタッフ
塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則／三浦 衛

1978・8 NO.138 Vol.12 NO.8



●アートディレクト 唯野信廣
●発行所
(株) 鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820
●印刷所 凸版印刷株式会社

ブルー・トレインが大変な人気を集めている。とくに「富士」は華やかな大スターだ。火つけ役は某テレビ局。『特急時代』で特急列車が脚光をあびつつあったところへ去る2月「富士」の全コースの旅を追ったドキュメンタリー作品がスペシャル番組で放映されたのが話題となりマスコミがワッと騒ぎ立てた結果燎原の火のように「ブルー・トレイン」ブームが広がった。絵に描いたようなマスコミとブームの相関図式であり 実態のない「ブーム」とはいえ ブルー・トレインが今や多くの人々に注目されているのは確かである。ところが肝心カナメの国鉄にブームに対応する動きが見られないのは どうしたことであろう。

民間企業——たとえば私鉄だったら このとき！とばかり商売たくましく乗り出すに違いない。鉄道友の会のブルーリボン賞への意欲は各社とも並々ならぬものがある。いい形で評判になることは企業にとって願ってもない機会なのだ。公共機関として国鉄に国家の大動脈としての矜持はもとより大切であるが 膨大な赤字で増収のためミミズ養殖まで考えている国鉄としては まず本業の鉄道輸送でがめつく稼ぐのが本筋であろう。設備改善とサービス向上 宣伝と旅客誘致など 空の旅に移行しつつある長距離旅客をブルー・トレインに呼びもどす 絶好のチャンスだと思うのだが……

シリーズ・日本の鉄道⑧

長野 善光寺平

小林宇一郎／松崎正治
青木栄一

7

●特集 客車列車の現状(2)	
ドキュメント☆列車追跡②③客車列車、再発見-2	
3. 北国旅情 急行<きたぐに>	原口隆行／菅沼清美 23
4. 瀬戸内の島影悲し 特急<安芸>	松尾定行 44
5. 客車+気動車!? 東北本線539列車	三浦 衛／菅沼清美 50
6. 急行荷物列車 荷33レ 汐留→京都	種村直樹／沖 勝則 54
昭和の客車史(下)	星谷俊二 61
これからの客車	岡田直昭 71

鉄道車両シリーズ⑧	
DD51形ディーゼル機関車	
編集部	75
ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)	87
車両基地	90
★レールウェイ・トピックス	
京成電鉄待望の空港新線が開業	91
西武鉄道401系が登場	板橋 昭 92
<とき>の食堂車を廃止	95
新・RJメカニズム 8 循環式汚物処理装置	96
トップ・アングル	98
車両とともに30年⑩	田邊幸夫 104
☆シリーズ・現場②	
視る——機関車乗務員	永崎祐之 110
ポスターと書物のドラマ⑧	佐々木桔梗 112
レールウェイ・レビュー	115
かがいてつどう イントロダクション	本島三良 122
‘急行列車’再発見②長電直通の高原急行<志賀>	123
今月の撮影地②筑豊のレッド・トレイン	126
新・ヨーロッパの鉄道-7 時刻表と旅のデザイン(後)	
	山之内秀一郎 128
タブレット	140
次号予告／ジャーナル編集室／乗務員室	142

ブルー・トレイン 116
◆ワイドレンズ／記念キップ・コーナー(116)◆RJクイズ／鉄道友の会だより(117)◆鉄道記事ざっくばらん／魚眼(118)◆Q&A／ズームレンズ(119)◆書評／新刊紹介(120)◆外国趣味誌紹介／伝言板(121)

表紙★赤い躍動 DD51形は日本の鉄道が生んだディーゼル機関車の傑作であろう。周到な試作改良を経て世に出たこの大器晩成形の機関車は今や本線用大型ディーゼル機関車の標準タイプとしてブルー・トレインから貨物列車まで 未電化幹線・亜幹線の主力機関車として大活躍している。(山陰本線で カメラ・栗田正一)

価格580円 760円